

旭市総合戦略(案)に関する意見と市の考え方

NO	意見要旨	市の考え方
1	地域の事柄に関心のない住民が増えているなどの現実を精査した上で、総合戦略の策定に当たっては計画が実現できるような総合戦略にしてほしい。	ご意見いただきましたとおり、総合戦略については、毎年、事業効果の検証等を行い、計画が実現できるよう努めていきます。
2	国の予算を「先駆的な事例に優先配分する」とあるように、具体的にアピールできなければ、せっかくの地域の知恵に国の予算配分も少なくなってしまうのではないかと。	総合戦略掲載事業については、産学官金労言等を含めた第三者委員会を設置し、個々の事業について、事業効果検証等を行っていきます。その結果により、計画期間中での新規事業等の掲載や既存掲載事業の廃止などが行われます。新規事業を行う際は、国が示す交付金等の有利な財源を活用できるよう、検討していきます。
3	若者へのアンケート結果において、地元で就職するなら「医療・福祉」分野が一番多いことから、旭中央病院を核に、医療を共同研究する企業や健康関連の物品やサービスを提供する企業の進出を促すため、税等の優遇施策や市の協力体制を盛り込むべきではないかと。	人口減少と少子高齢化、若者世代流出抑制・流入促進等を目的とした、旭市生涯活躍のまち構想を記載しています。この構想は、旭中央病院周辺を核として、コミュニティビジネスの活性化やヘルスケア関連産業等の集積を図り、雇用や市民協働の場を提供していくこととしています。
4	「新たな挑戦や起業をしようとする者の支援」となっているが、地元の農業高校や工業高校とタイアップして「アイデアが具体化するプロジェクト」のような展開を目指してはどうか。	今後とも、起業家等への支援や新たな商品開発による特産品の開発支援を行い魅力ある地域づくりへの取組を進めていきます。
5	市の基幹産業である「農業」は若者の就職アンケートでは低位になっている。市内の若者が魅力を感じることができないならば、市外の人に農業に参入してもらい、旭市の農業の魅力を再発見して、地域を活性化してもらった方がよいのではないかと。そのために、離農した人の田畑やトラクター、コンバイン等の利用されなくなったものをデータベース化して、斡旋できるような仕組みを構築し「手ぶらで旭市に来て農業が始められるプロジェクト」のようなものにより、若い人たちが「よし！ やってみよう！」と思える施策展開もよいと思う。	今後とも、若い人達に本市の基幹産業であり、県内トップクラスの産出額を誇る農業に魅力とやりがいを持っていただけるような様々な制度を活用しながら取組を進めていきます。
6	「子宝育成プロジェクト」だが、定住促進も兼ねて、小学校の周囲の土地を市が借上げ、庭付き戸建てアパートを建設し、市外から来た子育て家族に家賃補助をする、といったような展開を目指してはどうか。さらに飯岡地区の海水浴場近くにも同様に、こちらは独身限定で家賃補助を行えば、サーフィンを行う若者がくるのではないかと。そして、その人たちが地元で結婚して子どもが生まれたら、前述の庭付きの家へ移る、という流れができれば、定住が進むのではないかと。	今後とも、子育て世帯や若者が旭市に定住してもらえるよう、市の特色や魅力を生かしながら、取組を進めていきます。